

# 事務所通信 リソース

2月号 VOL. 128



安心が私たちの商品です

税理士法人 中央総合会計

■ 旭川事務所 〒070-0037

旭川市7条通13丁目 59 番地 4

TEL: 0166-25-4131

FAX: 0166-25-4132

E-mail : [cyuou@csk-i.com](mailto:cyuou@csk-i.com)

URL : <http://csk-i.com>

■ 相続税相談センター

税理士法人 中央総合会計内相談室

TEL: 0166-25-4139

※このリソースは以前のものも含め当事務所のホームページに掲載されています

■ 北見事務所 〒090-0023

北見市北 3 条東 2 丁目 14 番地

TEL : 0157-24-8866

FAX : 0157-24-6108

E-mail : [cyuou-kitaimi](mailto:cyuou-kitaimi@mocha.ocn.ne.jp)

@mocha.ocn.ne.jp



「一月は往(い)ぬる、二月は逃げる、三月は去る」といわれます。新春から年度替わりまでの慌ただしさを言い習わしたのですが、今年もすでに1カ月以上が過ぎようとしていることを思えば言い得て妙な表現ですね。ここで今一度、襟を正し令和3年の過ごし方を考えながら自分自身と向き合ってみたいものです。

## 【会社の美術品は経費に落ちる?】

「会社に飾るため地元の作家の絵画を購入しようと考えています。絵画は経費として処理してよいのでしょうか」という質問がありました。事業などの業務のために用いられる資産で、建物や備品など時間の経過によってその価値が減っていく資産を減価償却資産といいます。

絵画や彫刻などの美術品が減価

償却資産に該当するかに関して、

2015年以後に取得するものから

新しい取り扱いが適用されています。

それ以前は1点20万円(絵画は10

当たり2万円)以上かどうかなど

判定されていましたが、実態と照らし合わせて改正後は1点100万円未満である美術品は原則として減価償却資産に該当し、100万円以上のものについては非減価償却資産として取り扱います。

ただし、金額に関係なく時間の経過により価値が減少することが明らかなるものは減価償却資産として、逆に価値が減少しないことが明らかなるものは非減価償却資産として取り扱われます。倉庫などに保管されている絵画などでも維持管理がされており、いつでも展示できる場合は減価償却する事が出来ます。耐用年数は、金属製の彫刻などは15年、それ以外の彫刻や絵画、陶磁器などは8年です。ちなみに絵画の場合、額縁の費用についてもその絵画の一部として取得価額に含まれます。

仕事の気分転換、能率向上の為に皆様の会社に1点ががですか。



## 【客足回復の起爆剤になるか!】

神社や寺ではなく書店を訪問する「御書印めぐり」が静かなブームです。3月に始まった「書店と人を結ぶ」御書印プロジェクトの参加は現在 200 店を超えています。その書店で御書印帳を手で 200 円でお願いと、オリジナル印を含む3つの印が押され、日付と書店が選んだ本の一節が記載されます。全国の書店の個性あふれるスタンプと1フレーズを集めるのは楽しいですね。訪れた書店で手にした本との偶然の出会い、便利な通販では得られない喜びです。



## 今月の教えてキーワード【スプリンターネット】

スプリンター（破片）とインターネットを組み合わせた造語でインターネットの分断を意味します。自由であるネット空間が国や地域間で分断される状態を指し「ネットのバルカン化」とも表現されま

す。集めるデータ量が人工知能（AI）開発などの優劣を決めるため、中国やアメリカを中心に各国政府は自国内のデータを囲い込み、他国のデータ流通に利用しようとしています。個人情報情報の取り扱いに関する対立など問題点も指摘されています。

### 【自分の石をそこに据えながら…】

多くの仕事を抱え仕事に追われているとやっている仕事に意味を見出せなくなり「どうせ自分は会社（社会）の歯車のひとつに過ぎないのだから」と自嘲する事があります。又、経営者や管理者の中にもそのように部下を見てしまう人もいます。もともと組織や社会で活動していく中では誰もが歯車のひとつです。その中には他に代えられない歯車もあれば簡単に代えられるものもあるかも知れません。又、大きい歯車もあれば小さいものもあるかも知れません。しかし、「どうせ…」と否定的に考えるのでは仕事に対して誇り、喜びを感じる事が出来ません。

サン＝テグジュペリの「人間の土地」の中に次のような名言があります。『人間であるということは、とりもなおさず責任を持つことだ。人間であるということは、自分には関係がない不幸な出来事にも忸怩（じくじ）たる思いを持つことだ。人間であるということは、自分の友が勝ち得た勝利を誇りに思うことだ。人間であるということは、自分の「石」をそこに据えながら世界の建設に参加していると感じることだ』 2番目の自分には関係ない不幸な…、3番目の自分の友が…は他者の悲しみを我が悲しみに、他者の喜びを我が喜びとするという、愛と優しさを心に持ち続けるという事ですね。（持っていてでもそれを出すのが難しいのですが…） 最初に、とりもなおさず責任を持つ…を持ってきたのは職業飛行士であったサン＝テグジュペリらしいですが、責任を持つという事はどんな仕事に就いたとしても大切な事ですね。そして、最後の自分の「石」をそこに据えながら…は自分の仕事や役割を果たす中で世界の建設に加わっていると感じる事が出来るかという事です。もしできるなら、多忙で仕事に追われる状態でも「どうせ自分を歯車のひとつ」と考えることなく誇りを持って仕事出来るのではないのでしょうか。

私たちの誠実な仕事が取引先や関係者に伝わり、又その先にも伝わり最後に世界をおおつ事になる。そのように思える心の持ち方が大切なのではないのでしょうか。生死の境を全力でそしてロマンを持って生きてきた（そして死んでいった）サン＝テグジュペリらしい言葉だと思います。仕事や役割を歯車と考えるか、それとも同じ歯車であってもその歯車が世界の建設に参加していると感じられるのかはあなた次第です。

税理士法人 中央総合会計 井内敏樹

醜く頑固で、  
しかし誇り高く

今を生きる！

### 先人の言葉

俳優のジョン・ウエ  
インラック言葉。  
何事もただひたむ  
きに、不器用に、がむ  
しゃらにやればいい。  
結果がどうであろう  
と誇り高き者であれ  
ばそれでいい。

### 【エンド・オブ・ライフ】

本屋大賞のノンフィクション本大賞受賞作。

京都の診療所を舞台に在宅医療に関わる人々を7年間にわたり取材した著者が「命の閉じ方」を丁寧に綴った作品です。自分や家族の最後の時を考え、日々を楽しもうと思わせてくれる一冊です。

